



第30回

人間らしく働くための九州セミナー in 長崎

The 30th Kyushu Seminar for Decent Work in Nagasaki

国際的視点で考へる、働く人々の健康権

11月30日(土)

全体会…13:00～18:00 会場／長崎大学中部講堂
交流会…19:00～ 会場／長崎新聞文化ホール・アストピア

基調講演「EUの労働時間法制とその含意」

講師／濱口 桂一郎氏(労働政策研究・研修機構 所長)

シンポジウム

国際的視点で「働く人々の健康権」を考える

12月1日(日)

分科会…9:00～12:00 会場／長崎大学環境科学部・教養教育講義棟

市民公開講座…12:30～15:30 会場／長崎大学中部講堂

韓国映画「もうひとつの約束」上映会・トークセッション

参加費

2日参加……………¥3,500
1日参加……………¥2,000
学生(学生証提示)…¥1,000
交流会参加費……¥5,000

第30回 人間らしく働くための九州セミナーin長崎現地実行委員会

〒850-0953 長崎市上戸町4-2-20(上戸町病院気付) TEL:095-879-0705 FAX:095-879-3388
Email:kyusemi30nagasaki@gmail.com

後援／長崎労働局・長崎県・長崎市

人間らしく働くための九州セミナー ホームページ <http://kyusemi.jp/>

写真提供：長崎県観光連盟

人間らしく働くための九州セミナーとは

我が国の働く人びとをめぐる情勢はいっそう厳しさを増しており、雇用破壊、健康破壊、貧困と格差が進行し、今日のように深刻な状況をもたらすに至っています。こうした労働環境が悪化する中で、働く人びとの命と健康を守るための学習・交流の場として、1990年に「労災職業病九州セミナー～人間らしく働くために～」を開催し、今年で30年の節目の年を迎えます。

2010年からは、新たな発展をめざして「人間らしく働くための九州セミナー」に改称し、九州各地の組織や労働組合などの団体、専門家と連携し、「人間らしく働くための」運動を育んできました。

今回の基本コンセプト

今回の30回記念大会は「国際的視点で考える、働く人々の健康権」を基本コンセプトに開催、九州セミナー運動の到達と課題をグローバルな視点で再度捉えなおす大きな契機とします。

私たちは、「人間らしく働く」ことができる社会・地域を求めて、30年間九州セミナー運動を重ねてきました。「過労死・過労自死」に至る基準まで働かされることなく、豊かな人生を送るために労働があるということを再確認する必要があります。

「健康に、そして人間らしく働きたい」これは働く人びとの当然の権利であり、共通の願いでもあります。今こそ、人間らしく働くことが出来る職場・社会を創り、基本的人権として、**健康で生き・働く権利＝「健康権」**を確立していく広範な運動を展開していきましょう。

分科会演題募集

以下のテーマで募集しています。

- 外国人労働者の労働環境と健康
- 雇用関係によらない働き方
- 非正規雇用と健康
- 格差社会がもたらす貧困と健康
- 24時間社会・深夜労働と健康
- ブラックバイトの問題
- 学校、職場、地域で働くルールを学ぶ
- 感情労働と健康権
- 職場でのいじめとハラスメント
- 労働者のメンタルヘルスについて
- 過労死問題と働き方改革からの課題
- ひとり親世帯の働く環境について
- 親の働き方と子どもの貧困
- 働く女性の健康
- 働きながら介護を行っている人びとの健康権
- 病気になった労働者の休む権利・職場に復帰し働く権利
- じん肺・アスベスト問題
- 振動病・腰痛など筋骨格系障害
- 原発労働者の健康
- 職場の労働安全衛生活動
- 医療・介護・福祉の現場から見た労働者の健康
- 自営業・中小零細業者の健康
- 公務労働者の労働実態と健康
- 災害被災地の中で働く人びとの健康権

■ 報告エントリー／10月7日(月)まで

■ 報告原稿締切／10月21日(月)まで

※詳細は要項をご確認ください。